

2019 年登録販売者試験 in 奈良 第三章（一部解説）

問65 次の記述にあてはまる漢方処方製剤として、もっとも適切なものを一つ選べ。

体力に関わらず、筋肉の急激な痙攣を伴う痛みのあるものこむらがえり、筋肉の痙攣、腹痛、腰痛に適すとされる。まれに重篤な副作用として、肝機能障害のほか、間質性肺炎、うっ血性心不全や心室頻拍を生じることが知られており、心臓病の診断を受けた人では使用を避ける必要がある。

1 芍薬甘草湯 2 桂枝加朮附湯 3 薏苡仁湯 4 疎経活血湯 5 釣藤散

正解：1

「こむらがえり」というキーワードから1だとすぐ分かる。コムレケアという商品が有名。「体力に関わらず」も覚えておこう。偽アルドステロン症の懸念があるため心臓病の診断を受けた人は使用を避ける。

問71 次の生薬成分のうち、去痰作用を期待して鎮咳去痰薬に配合されるものとして誤っているものを一つ選べ。

1 シャゼンソウ 2 セキサソ 3 オウヒ 4 センブリ 5 セネガ

正解：4

センブリは漢字で千振。「千回振ってもまだ苦い」ことからこの名が付いた。つまり苦味健胃薬。

問74 次の胃の薬の配合成分に関する記述のうち、正しいものを一つ選べ。

1. オウバクは、ミカン科のウンシュウミカンの成熟した果皮を基原とする生薬で、香りによる健胃作用を期待して用いられる。
2. ユウタンは、クマ科のヒグマその他近縁動物の胆汁を乾燥したものを基原とする生薬で、苦味による健胃作用を期待して用いられる。
3. アルジオキサは、マグネシウムを含むため、透析を受けている人では使用を避ける必要がある。
4. アズレンスルホン酸ナトリウムは、消化管内容物中に発生した気泡の分離を促すことを目的として配合されている場合がある。

正解：2

1. オウバク：ミカン科キハダ。苦味健胃薬。
チンピ：ミカン科ウンシュウミカン。芳香性健胃薬。
※どちらもミカン科なので、違いを押さえよう。
3. マグネシウムではなく、アルミニウム。
4. 気泡の分離ではなく、胃粘膜修復・保護。

問77 ヒマシ油に関する次の記述について、正しい組み合わせを選べ。

- a. ヒルガオ科のアサガオの種子を圧搾して得られた油を用いた生薬である。
- b. 吸収された成分の一部が乳汁中に移行して、乳児に下痢を引き起こすおそれがある。
- c. 防虫剤や殺鼠剤を誤って飲み込んだ場合等、脂溶性の物質による中毒に使用する。
- d. 寄生虫の排出を促す目的で、駆虫薬と併用すると効果的である。

正解：bのみ○。

ヒマシ油単独で詳細を問う問題は珍しい。

- a. ヒマシ油はトウダイグサ科のトウゴマの種子から採取する植物油の一種。
- c, d. 脂溶性の物質と一緒に使うとヒマシ油にそれら成分が溶け込んでしまうので、体に吸収されやすくなる。よって一緒に使わない（駆虫薬も脂溶性。）

問86 次の婦人薬として用いられる漢方処方製剤のうち、構成生薬にダイオウを含むため、授乳婦や妊婦または妊娠していると思われる女性の使用に関して、留意する必要があるものを一つ選べ。

- 1 桂枝茯苓丸 2 温清飲 3 四物湯 4 桃核承気湯 5 当帰芍薬散

正解：4

超頻出の問題。覚えていない人は、「桃尻の大王」を思い浮かべましょう。おしりのプルンツとした王様です♪

問95 歯痛薬または歯槽膿漏薬の配合成分とその配合目的の組み合わせについて、正しいものの組み合わせを一つ選べ。

- a. 銅クロロフィリンナトリウム—歯周組織の修復を促す作用
- b. ジブカイン塩酸塩—殺菌消毒作用
- c. フィトナジオン—出血を抑える作用
- d. アスコルビン酸—歯周組織の血行を促す作用

正解：aとcが○。

難問。

- a. 銅クロロフィリン Na：胃粘膜保護剤や歯槽膿漏薬で使われる成分。
- b. ジブカイン：「カイン」という語尾から局所麻酔薬と分かる。
- c. フィトナジオン：マイナー成分。ビタミンK1のことで出血を抑える作用がある。
- d. アスコルビン酸：ビタミンC。別名はチャゲアス（「C」hage&「アス」コルビン酸）と覚えよう。コラーゲン代謝を改善して炎症を起こした歯周組織の修復を助け、毛細血管を強化して炎症による腫れや出血を抑える効果がある。血行促進はビタミンE。

問98 次の消毒薬のうち、手指・皮膚の消毒に用いられる成分として、正しいものの組み合わせを一つ選べ。

- a. ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
- b. クロルヘキシジングルコン酸塩
- c. 次亜塩素酸ナトリウム
- d. ポリアルキルポリアミノエチルグリシン塩酸塩

正解：bとdが○。

- a. プールなど大型設備で使用される。
- b. オロナインに含まれる成分。
- c. 混ぜるな危険系の成分で、化学的に非常に不安定である。
- d. マイナー成分。他県では「ポリアルキルポリアミノエチルグリシン塩酸塩は、クレゾール石鹼液と同様の殺菌消毒作用を示す。」という記述で出題されたこともある。（←この記述は○である。）